

年長保護者各位



認定こども園 國學院大學栃木二杉幼稚園

蔵の街遊覧船に乗ってきました
お天気にも恵まれ楽しいひと時でした



蔵の街遊覧船について

栃木市は江戸末期から昭和初期にかけて江戸との舟運での交易で栄えた問屋町です。北関東有数の商都と呼ばれ、江戸からは物資のみならず多くの文化が栃木市に流入し、その名残から今なお小江戸と呼ばれています。
当時の舟運を再現する蔵の街遊覧船では、街中を流れる巴波川(うずまがわ)の川面から、情緒ある蔵の街並みを楽しむことができます。
船上では、粋な船頭が巧みな竿さばきで「栃木河岸船頭唄」と共に栃木市や巴波川の歴史を案内してくれます。

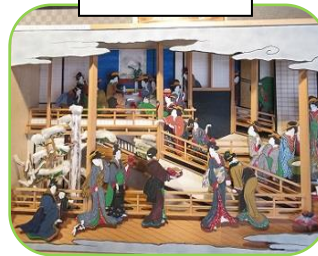
早く
舟にのってみたいな!!



水琴窟



深川の月



品川の月



ライフジャケットを着て遊覧船に乗りました(^_^)

舟に乗った後に、遊覧船の待合所で、記念写真を撮ったり、水琴窟で水の音を聞いたりしました。栃木市にゆかりの深い喜多川歌麿の「深川の雪」「品川の月」の絵が展示されていました。

いよいよ出発です 《舟がでるぞー！ オー!(^^)!》

船頭さんに教えてもらったかけ声で舟が出発です！昔、栃木からは米・麻・石灰等を江戸に、江戸から栃木には、糖、酒、油等を舟で運んでいたそうです。



遊覧船の方向をもうすぐ変えるよ。今日は水の量が少なくて大変だ

橋の下も通ったよ、すごい！



水面にこいのぼりが移り、カモも気持ちよさそうだ



井戸で水を汲んでみたよ！



こいのぼりは、1151匹
(いいこい) 飾ってあるんだって！びっくり!!



水琴窟（すいきんくつ）筒から綺麗な水の音が聞こえてきて不思議でした！



黒壁と巴波川の鯉を見ながら歩き、風景が江戸時代になったようです（*^_^*）



また、舟に乗りたいね♪ 船頭唄、とても素敵だったよ😊もう一度聞いてみたいなあ！
今度は、おうちの方も一緒に乗ってみてはいかがでしょうか？



水琴窟（すいきんくつ）は、日本庭園の装飾の一つで、手水鉢の近くの地中に作りだした空洞の中に水滴を落下させ、その際に発せられる音を反響させる仕掛けで、手水鉢の排水を処理する機能をもつ。水琴窟という名称の由来は不明である。

